

ATLAS 実験参加の集会報告

去る3月19日に、尼子、小林、近藤、武田の発起人名で皆様に送りました招待状「ATLAS実験参加の呼びかけ」で提案した4月7日の会合が開かれました。会合に出席された方のリストは下に添付する。詳しい議事録は後で出されますが、ここで簡単に会合の結果を報告します。現時点での呼びかけを行った理由は、LHC計画の承認が間近なこと、ATLAS実験の活動が12月の技術提案に向け重要な段階になってきたこと、文部省がLHC計画に積極的で来年度の実験グループの結成が予算要求に関係することなどの情勢が発起人から述べられた。現状紹介、自由討論のあとで、次の様な決定を行いました。

(1) ATLAS日本グループ(仮称)組織を作ることに合意した。

(2) 以下の運営方針に合意した。

- a. この組織はATLAS実験に関する日本の各研究機関の研究活動ならびに予算の要求と調整を行う。
- b. 日本の研究機関のATLASグループへの研究参加は基本的に研究機関を通じて直接行われる。
- c. この組織はオープンであり、いつでも参加を歓迎する。
- d. この組織に代表者、事務局、運営委員会をおく。運営委員会は各研究機関の代表および測定器サブグループの代表者からなる。代表者と事務局の任期は3年とし再任可で、その選出は運営委員会で行われる。

(3) 組織の代表者に小林富夫と近藤敬比古の両名を、事務局に尼子勝哉を選出した。

この組織の母体を構成するため、4月30日までに、各研究機関でATLAS参加者名簿を作り、事務局の尼子に連絡することになった。各研究機関や各研究者には様々な理由で「今すぐはATLAS参加者名簿には名を載せられないが将来参加の意思がある」ケースがあると思われます。その場合にはその旨をお知らせ下されば、連絡網に登録し、各種情報を随時お伝えします。またこの組織に関しての意見、提案、質問等も自由に送ってください。グループ名も提案受け付けます。

1994年4月8日 ATLAS日本グループ(仮称)代表: 小林富雄 近藤敬比古

4月7日の会合出席者: 小林富雄、塚本俊夫、川越清以、吉田哲也、井森正敏(東京大) 武田廣、野崎光昭、永井康一(神戸大) 竹下徹(信州大) 浜津良輔(都立大) 阿部文雄、尼子勝哉、新井康夫、岩崎博行、氏家宣彦、大須賀関雄、尾高茂、神前純一、高力孝、近藤敬比古、作田誠、佐々木修、高岩義信、寺田進、土井義城、能町正治、春山富義、藤井啓文、森田洋平、山本明、安芳次(KEK) 川口湊、田中覚(福井大) 江村恒夫(農工大) 中川祐治(国際基督教大) 坂本宏(京大) 大杉節(広島大)
出席したいが都合でできないとの連絡のあった者: 吉田肇(鳴門教育大) 山形武虎(国際基督教大) 高嶋隆一(京都教育大) 田村詔生(岡山大) 岩田洋世(広島大)